

れんめい、和歌山

—看護と政治のかけ橋—

第 47 号

発行所
和歌山県看護連盟
和歌山市西浜 1014-27
看護研修センター内
電話 073-446-5189
F A X 073-446-5205

発行責任者
谷 真子
印刷所
中和印刷紙器株式会社



CONTENTS

ごあいさつ.....	2,3
診療報酬研修.....	4
平成 26 年度日本看護連盟通常総会	5
平成 26 年度和歌山県看護連盟通常総会	6 ~ 9
連盟からのお知らせ・編集後記・その他.....	10





ごあいさつ



和歌山県看護連盟 会長 谷 眞子



平成 26 年度和歌山県看護連盟通常総会に臨んで

紫陽花の色こい立夏の候を迎え、平成 26 年度通常総会を開催出来ますことになりました。

昨年は、会員の皆さまの力強いご支援をいただき 2 人目の参議院議員石田昌宏氏を国政に送ることができました。2025 年の超高齢化社会を迎え、医療も施設完結型から地域包括支援センターシステムすなわち地域完結型へと変わろうとしております。私達看護職はどのように社会が変化しても、人々が安心して暮らせる社会を目指して、時代の変化に対応した看護の提供が求められます。看護職代表議員が 3 人になった今こそ、現場の声を届け、国政の場で制度化・法制化に向けて頑張ってもらいたいと期待するところです。国は、地域の実情に応じた医療・看護・介護の

総合的な確保のために、新たな財政支援策として都道府県に基金を設置し、従来の国の看護関係予算の大方は、県が作成した計画に基づき、執行される方向に舵をきりました。

和歌山県における現場の課題解決や看護政策実現には、看護職のより一層の政治力と組織強化が求められます。和歌山県看護連盟は、「ベッドサイドから政治を変える！」をスローガンに掲げていますが、確かな政策力と強力な集票力をもつ組織へと変化させてゆかなければなりません。「特定能力研修制度」の法制化や「新人看護職員研修制度」の義務化等、大きな制度変革を必要とする時を迎えています。専門職として信頼される連盟組織に体制を整え、時代の変化に対応していかなければなりません。誰かがやってくれるという他力に依存せず、看護職一人ひとりが自律し専門職として誇りをもって、これまで先輩達が築き残してくれた看護のあゆみについて深く認識し、道を開いてくれたように、今を生きる私たちが力を合わせ、明るい看護職の未来のためにがんばりましょう。皆さまの更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

日本看護連盟 会長 草間 朋子

個人と組織の力の強化

「看護師は、チーム医療のキーパーソン」といわれるようになってから 2 年が経ちます。

一人ひとりの看護職、そして、組織としての連盟は、名実共に、看護師がチーム医療のキーパーソンであることを医療界および社会に示して行かなければなりません。

患者さん達に寄り添い、患者さんの状態を四六時中、見守り続けている一人ひとりの看護師は、アセスメント能力を磨き、療養上の世話および診療の補助行為を通して、患者さん達の症状をマネジメントし、さらに、その結果を医師、薬剤師、管理栄養士などに提供し、医療スタッフ間で患者さんの情報を共有できる状況をつくっていくことがキーパーソンとしての役割です。

キーパーソンとしての看護師の質向上のための教育・研修環境や働く環境を整備する活動は、政治を動かす組織の役割です。

また、医療従事者間および患者さんとの信頼関係の構築が不可欠です。看護師一人ひとりの努力はもちろんですが、組織としての活動も不可欠です。チーム医療の中での看護師の役割をしっかりと社会に発信し、私達の活動をもっと社会にアピールしていかなければと思います。

ベッドサイドで抱える看護のさまざまな課題は、組織の力なくして解決できません。患者さん達の QOL 向上に向けて看護連盟の力を強化していきましょう。



衆議院議員 あべ 俊子



和歌山県看護連盟の皆様、いつも温かいお力添えを賜り心より感謝申し上げます。
現在、第 186 回通常国会が開会しています。議院運営委員会や自民党国会対策委員会の活動も活発になり、法案の説明や整理、与野党間の話し合いに取り組むなど国会運営に携わりつつ、週末は地元へ帰りできる限り皆さんとの触れ合いを大切にしています。

今国会では、必要な法案を通し、また復興を推し進めていくとともに、次々年度に向けての予算獲得のための政策づくりもしていきます。それらの予算には、10 年、20 年、それに続く 100 年後の日本のことをも考えた思いを込めながら、次世代に送り継ぐ政策をつくりあげていきます。同時に、看護職の皆様お一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願い、皆様のお声をお聞かせいただきながら、その実現に向けても引き続き精一杯取り組んでまいります。政治は国民のものであり、政治は皆でつくりあげていくものです。和歌山県看護連盟の皆様のご温かく心強いお力添えを心よりお願い申し上げます。

参議院議員 高階 恵美子



さわやかな五月晴れが心地良い新緑の季節を迎えました。和歌山県看護連盟の皆様には日々ご精励のことと心より敬意を表しますとともに、変わらずご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、1 月から始まった今国会では、史上 3 番目となる早さで新年度予算が可決・成立いたしました。この予算は、経済再生・デフレ脱却と財政健全化を目指すことと並んで、社会保障と税の一体改革を実現する最初の予算と位置づけられています。

法案でも、私が理事をつとめる参議院厚生労働委員会では多くの社会保障関連法案が審議され、国民のいのちと健康を守り、安心して暮らせる社会を維持してゆくための社会保障制度体系の大改革が動きだしています。これまで私たちが熟慮と検討を重ねて準備を進めてきた、将来のわが国にふさわしい社会保障の体制整備が着々と進められつつあります。

今こそ私たち看護職は専門職として、そして社会保障の実現者として一人一人が現場での気づきと新たな発想を声にしていかなければなりません。この国の未来に安心と安全の灯りをともし続けるために、私はその声を国政の場に届け、政策として実現してゆく役割を果たして参ります。心をついにし、共に歩みを進めて参りましょう。

参議院議員 石田 昌宏



和歌山県看護連盟の皆様、平素はお力添えを賜りありがとうございます。

今国会も終盤となり、多くの法案が審議されています。私たちの身近なところでは、医療制度改革のプログラム法である社会保障制度改革推進法に基づき、保助看法、医療法、介護保険法など多くの法律が改正されます。将来の日本をしっかりと見据え、同法案が真に長期安定的な制度となるよう力を尽くしてゆきます。

また、党内ではピッチを上げて今国会への提出予定の法案が議論されているのと並行して、次期国会に向けて、新たな部会やプロジェクトチームが立ち上がり、勉強会やヒアリングなどが行われています。

社会が大きく変わりつつある今、医療・看護の現場はその変化をダイレクトに感じる場のひとつです。皆様「今日もいい看護ができた!」と実感し、輝きをもって看護を行うことができるよう、国政の場で頑張ってください。

診療報酬研修

平成 26 年 3 月 16 日 (日) 10:00 ~ 12:00 場 所: 名手病院
 14:30 ~ 17:00 場 所: 和歌山県看護協会
 平成 26 年 3 月 30 日 (日) 13:30 ~ 15:00 場 所: 新宮医療センター
 テーマ: 平成 26 年度診療報酬改定について
 講 師: 参議院議員 石田昌宏先生



研修会に参加して

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 鞠谷 博子

平成26年3月16日、看護連盟の研修に参加し、「平成26年度診療報酬改定について」石田昌宏先生の講義を聴講しました。

今回の改定では、団塊の世代が75歳に達する2025年に向けた医療機関の機能分化・在宅医療の充実・地域包括ケアシステムの構築などがポイントになっています。石田先生には改定の項目だけでなく、なぜそのように改定されたのか、しくみについても詳しく説明していただきました。

当院は、地域に密着した医療を実践することを理念としています。地域のニーズに応えることのできる医療機関であり続けるために、要件をどのようにクリアしていくのかではなく、当院のある地域から求められる役割を十分理解しなければならぬと感じました。また、改定内容を正しく理解し、早急に体制を整える必要性を感じました。

済生会和歌山病院 廣瀬 朱実

今年は診療報酬改定が行われる年です。医療関係者は、普段の業務内容は個々違っていても診療報酬改定は否応なくその業務に影響を及ぼすもので、改定内容が明らかになるたびに今後の対応に追われている現状があります。

2025年度に向けて、病床の機能分化を図るべく、現在の7対1看護をとる急性期病院を高度急性期と一般急性期へ、その上地域包括ケア病棟を新設し亜急性や回復期を充実させ、地域との連携を図っていくことを目指しています。

石田先生は、(現場の状況がよくわかってきているので)講演の中でも特に現場にすぐに影響がある内容や、臨床の看護師等がどうしていけばいいかを話してくれます。今回、がん患者指導管理料のところで、「診療報酬がついていなくても患者に必要なことに取り組んでいることが評価された。診療報酬がついているからではなく、患者に必要なからという視点を忘れないでほしい」ということを言っていました。患者に必要な看護を忘れずに日々頑張っていきたいと思いました。

新宮市立医療センター 藤澤 環

石田議員の第一印象は、元気・にこやか・包容力がある方だと思いました。

講義は大変解りやすく、2025年の少子高齢化社会に向けて社会保障制度がどのように変わっていくのか、また医療・看護の質を高めるために診療報酬の改定をどう捉えるか、を熱く語られていました。講義中の言葉には、常に現場の看護師の立場を考え、看護師が少しでも看護に集中できるように環境を整えたい、という思いが感じられました。また、今年度の診療報酬改定までの経過や議会内容(保助看法の改正や特定看護師の特定行為の明確化)を聞き、石田議員が現場の看護師の代表であることを実感しました。最後に話された地域の看護師が元気になれるシステムの構築に期待し、自分自身も地域医療看護を担えるよう努力していきたいと考えました。

平成26年度日本看護連盟通常総会 創立55周年式典開催

平成 26 年 6 月 3 日、東京プリンスホテルにおいて、平成 26 年度日本看護連盟通常総会および創立 55 周年式典が盛大に開催され、約 2300 人が参加しました。

開会式では草間朋子会長が挨拶され、来賓の挨拶では坂本すが看護協会会長が挨拶され、また野田聖子自民党総務会長も駆けつけ挨拶されました。名誉会員の承認、平成 26 年度の活動計画、予算、スローガンなどが審議され、了承されました。

総会のあと、あべ俊子衆議院議員、たかがい恵美子参議院議員、石田まさひろ参議院議員の国政報告会が行われました。

国政報告会のあと、創立記念式典が開催され、式典には竹下亘自民党組織運動本部長が駆けつけ挨拶されました。功労賞、特別表彰、会員表彰など約 260 名が表彰を受けました。



「あべ俊子政策研究会」国政報告会

平成 26 年 6 月 2 日、自民党本部において、あべ俊子衆議院議員の国政報告会が行われました。谷垣禎一法務大臣、高市早苗政調調査会長、石破茂幹事長、野田聖子総務会長その他多数の議員の方々の出席のもと、国政報告が行われました。

岡山 3 区、3 期目のあべ先生は、涙あり、笑いありの活気溢れる国政報告会でした。



平成26年度和歌山看護連盟通常総会

プログラム

月日：平成 26 年 6 月 21 日（土）
場所：和歌山県民文化会館小ホール

- 12：20 開場
12：55 オリエンテーション
13：00 開会
会長挨拶
来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露
14：00 特別講演 テーマ 「看護職のこれから～ 2025 年を迎え」
講 師 阿部俊子衆議院議員 前政策秘書
伊勢田 暁子 先生
14：50 議長団選出
報告事項 1. 平成 25 年度通常総会報告
2. 平成 25 年度日本看護連盟主催会議報告
3. 平成 25 年度県役員・関する委員会合同会議報告
4. 平成 25 年度研修会報告
5. 平成 26 年度日本看護連盟通常総会代議員報告
審議事項 第一号議案 平成 25 年度活動報告（案）
第二号議案 平成 25 年度決算報告（案）
第三号議案 平成 25 年度会計監査報告
第四号議案 平成 26 年度スローガン（案）
第五号議案 平成 26 年度活動計画（案）
第六号議案 平成 26 年度予算（案）
第七号議案 選挙対策（案）
第八号議案 役員選出
新・旧役員挨拶
綱領宣言
16：30 閉会

第四号議案

平成 26 年度スローガン（案）

「ベッドサイドから政治を変える！」
～確かな政策力、強力な集票力を持つ組織をつくる～

第五号議案

平成 26 年度活動計画 (案)

重点目標 強力な集票力をもつ

重点活動

1. 支部活動を強化し、組織の強化を図る。
2. 会員一人一人が自立し活動できる。
3. 若手会員の政治参加を促進する。
4. 政治に関心の薄い看護職の政治参加を促進する。

項目	目 標	活 動 内 容	推進機関		活動推進方法
			県	支部	
政治力の強化	1. 看護政策に関する議論を活発に行える環境をつくる。	①会員への情報提供を効果的に行う。 ②「現場の声」を国会・地方議員に積極的に伝える。 ③看護現場の課題を議員と共有する。 ④看護現場の課題を社会に伝える。 ⑤地方議員を支援する。 ⑥自民党県連政務調査会へ看護現場の課題を伝える。	○	○	・本部の看護政策に関する情報を集会や施設訪問等を利用して発信する。 ・機関誌「れんめい和歌山」の充実 ・「現場の声」の収集・分析し政策に反映 ・看護問題に関心が高い国・地方議員との勉強会や意見交換会を開催 ・「看護を考える」県議会議員との積極的な交流 ・看護を支援する国会・地方議員や地域住民との日常関係を強化する。 ・後援会活動 ・県看護協会と看護政策について課題を共有
	2. 看護職の国会議員を増やす。	①第 24 回参議院議員選挙に向けた体制を整える。	○	○	・25 万票以上獲得するために連盟会員を増やす。 ・看護協会会員の 50%をめざす。 ・看護協会と共に活動する機会をもつ。 ・看護連盟活動への理解を促す。 ・施設内連絡員を増やす。 ・県別会議 11 月 4 日 (火) ・リーダー (施設内連絡員強化研修) ・後援会活動、選挙応援 ・岡山 3 区の応援
	3. 国会・地方議会への影響力を強める。	①地元選出国会議員・地方議員との勉強会を実施する。 ②地元選出国会議員・地方議員の主催する会合へ出席	○	○	・国会議員を講師に勉強会の開催 ・議員の主催する会合へ出席 ・看護を支援する自民党国会議員・地方議員への選挙応援
強力な集票力を持つ組織	1. 支部組織の充実・強化	①支部組織を整え、充実・強化をはかる。 ②支部の主體的活動の促進 ③支部役員・連絡員の意識強化 ④目標達成を目指した支部活動 ⑤県看護協会地区支部との連携強化	○	○	・本部モデルに基づき支部組織を確立する。 ・施設内連絡員・支部委員の数を充実 ・施設内連絡員意識強化 ・施設内連絡員研修 (25 年度実施したリーダー研修未受講者対象) ・施設内連絡員・支部委員のネットワークの構築 ・会議を定例化し、情報を共有する。 ・都道県別会議 11 月 4 日 (火) ・役員・関する委員会での情報交換 ・協会・連盟支部合同研修会開催 ・看護協会会員対象に基礎研修・統基礎研修の実施

項目	目 標	活 動 内 容	推進機関		活動推進方法
			県	支部	
組織の強化拡大	5. 会員一人ひとりが自立して活動できる。	看護管理者の意識の高揚 ・看護管理者研修 ・看護管理者・教育者トップセミナー	○		・看護管理者の政治参加の促進研修会 8月23日(土) 講師 大島敏子先生 10月18日(土) 講師 草間会長 ・ブロック別開催(宿泊研修)11月15日(土), 16日(日) 開催地 京都 5名参加 ・参加報告会・看護者に必要な労務管理研修 H27.1月24日(土)
	6. 広報活動の推進	①「現場の声」を政策提言に反映 ②「れんめい和歌山」年3回発刊 ③和歌山県看護連盟HP開設 ④会員が連盟活動の理解を深め、活発な活動を促進するために情報提供を行う。 ⑤政治・選挙に対する理解を深め、行動する。 ⑥看護職議員の活動の周知	○	○	・日本看護連盟ホームページ「現場の声」書き込みサイトのPR ・会員・賛助会員への情報提供(機関、Weekly 配布) ・和歌山県看護連盟HP開設し、速やかな情報発信・情報提供 ・メールマガジンの活用 月2回 ・アンフィニ機関誌年4回発刊雑誌個人送り ・ハンドブック、クリアホルダー公務員活動チラシを施設訪問・研修時に活用 ・DVD、パワーポイントで継続学習する。 ・あべ俊子・たかがい恵美子議員の国政報告の活用
組織の適正な運営管理	1. 施設・支部・県協会と本部と連携した組織を推進する。	①活発な定例会議を通して本部・都道府県・支部の連携を強化する。 ②協会との連携を強化し、意思疎通を図る。 ③本部・都道府県・支部間の日常の意見交換を通して意思疎通を図る。	○	○	・本部・近畿ブロック・県別会議 本部総会 6月3日(火) 都道府県会長会 (4月18日・6月3日・1月29日,30日) 県別会議 1回 11月4(火) ブロック別会長会議 適宜 本部3月4日 ・県・支部の会議 県役員・関する委員会 月1回 支部長会 年2回 支部委員会 2~3月に1回 ・連盟会議に協会役員出席 ・県看護協会・連盟政策委員会では要望事項の検討 ・本部・県・支部の日常の連携を強化 本部役員講師依頼
	2. 事務局の運営を適正に行う。	①会員を適正に管理する。 ②財政を適正に管理する。 ③事務局運営の円滑化を図る。	○		・全国共通の会員管理システム更新 ①会員登録 ②会員移動登録 ③研修会参加者入力 ④後援会入会状況 ・会計監査実施 2回 上半期(11月)・決算期(4月) ・必要時三役会議 ・業務日誌の申し送りを活用
会員の福祉	1. 慶弔への対応 2. 諸問題への支援	規約に基づき慶弔を行う。 専門家と相談して対応	○		・受賞者への祝い・物故会員への弔意・災害見舞い ・本部との連携で速やかに問題解決する。



連盟からのお知らせ

平成 26 年度 和歌山県看護連盟通常総会

開催日：平成 26 年 6 月 21 日（土） 会 場：和歌山県民文化会館

特別講演 「看護職のこれから～ 2025 年を迎え」

講 師：阿部俊子衆議院議員 前政策秘書 伊勢田 暁子 先生



平成26年度 連盟会員 入会受付中!

皆様のご入会をお待ちしております。

年会費

日本看護連盟会費 5,000 円

和歌山県看護連盟会費 3,000 円

計 8,000 円



会員の皆様、如何お過ごしですか。

「れんめい和歌山 47 号」をお届けします。

平成 26 年 6 月 3 日 日本看護連盟通常総会が盛大に開催されました。

平成 26 年 6 月 21 日 和歌山県看護連盟通常総会を開催いたします、会員の皆様のご参加お願い致します。



広報委員一同

本物の豊かさ
やさしく包み込まれる
楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムートンアリエス40。1cm²に5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。



東洋羽毛関西販売株式会社

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12

TEL 0120-88-2104

ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

和歌山営業所

〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F

TEL 0120-32-7766